

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 3 月 8 日 (2007.3.8)

【公開番号】特開 2004-236311 (P2004-236311A)

【公開日】平成 16 年 8 月 19 日 (2004.8.19)

【年通号数】公開・登録公報 2004-032

【出願番号】特願 2004-12760 (P2004-12760)

【国際特許分類】

**H 0 3 K 19/0175 (2006.01)**

**H 0 4 L 25/02 (2006.01)**

**H 0 1 L 21/822 (2006.01)**

**H 0 1 L 27/04 (2006.01)**

【F I】

H 0 3 K 19/00 1 0 1 K

H 0 4 L 25/02 F

H 0 1 L 27/04 V

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 1 月 19 日 (2007.1.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

出力回路から入力回路へ伝送される出力信号の電圧ピーキングを制御する方法であって

、

前記入力回路を配設するステップであって、該入力回路は、入力ノードと低電圧端子との間に直列接続されたパストランジスタを有し、前記入力ノードは、前記出力回路から前記出力信号を受信するように接続されている、ステップと、

前記入力回路の前記パストランジスタに印加される制御信号を調整して該パストランジスタのオン抵抗を変えるステップであって、前記パストランジスタの前記オン抵抗は、前記電圧ピーキングが、前記パストランジスタの前記オン抵抗の変化により少なくとも部分的に制御され得るように、前記出力信号の前記電圧ピーキングと所定の関係を有している、ステップと、

を含む方法。

【請求項 2】

前記入力回路を配設するステップが前記入力ノードに直列接続された調整可能抵抗器を更に有する前記入力回路を配設するステップを含み、前記入力回路の前記調整可能抵抗器の前記抵抗値を変化させるステップを更に含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

出力信号を伝送するよう構成された出力回路を有する第 1 の集積回路デバイスと、

前記出力回路に電氣的に接続された入力回路を有する第 2 の集積回路デバイスであって、前記入力回路が、

前記出力回路に接続されて前記出力信号を受信する入力ノードと、

前記入力ノードに接続されたパストランジスタであって、制御信号を受信して前記パストランジスタを選択的に作動させる制御電極を有する前記パストランジスタと、

前記パストランジスタの前記制御電極に直列接続された調整可能信号源であって、前

記制御信号を調整して前記パストランジスタのオン抵抗を変え、それにより、前記出力信号の電圧ピーキングを制御する前記調整可能信号源と、

を有する前記第2の集積回路デバイスと、  
を備えているマルチデバイスシステム。